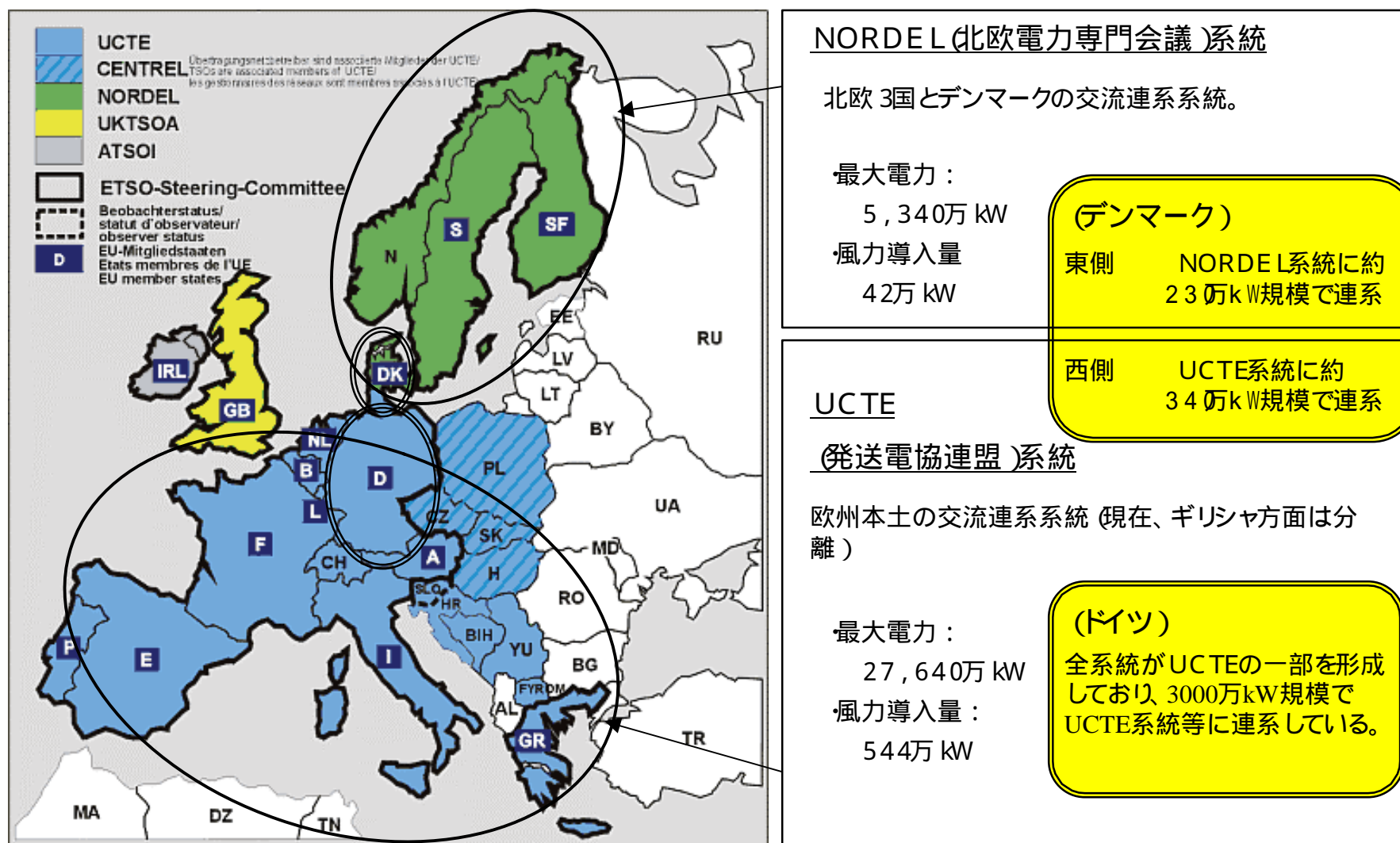


## 欧州の系統連系状況



北海道電力 最大電力：511万 kW 北本連系線の容量 60万 kW

## 諸外国における風力発電の導入の状況

	最大電力 (万kW)	風力発電導入 設備容量 ( / )	導入目標値	系統の規模等
北海道電力	511万kW	3.3万kW (0.6%)	当面15万kW (2.9%)とし、 今後検証	我が国においては、各電力会社毎に需要と供給のバランスを保つことを基本に給電運用が行われているため、会社間連系線の規模は、各電力会社の需要規模に比べて大きくない。(北本連系線60万kW)
英国	5680万kW	47万kW (0.8%)	2010年までに535万kW	仏と200万kW規模により連系。
ドイツ	7,180万kW	288万kW (4.0%)	2005年までに1,000万kW	15ヶ国からなる国際広域運営系統(UCTE)の一部を形成し、3000万kW規模で連系。 出力変動の調整は基本的に各電力会社が行い、調整できないときには連系系統を使って協力を得る。
<参考> UCTE系統	27,640万kW	544万kW (2.0%)		
デンマーク	540万kW	146万kW (27.0%)	2030年までに550万kW (うち海上風力400万kW)	東側(シェラン島や他の島々)はNORDEL系統と計230万kW規模で連系されており、西側(ユトランド半島)は、UCTE系統と計340万kW規模で連系。  全体で他国との系統接続規模は570万kWであり、最大電力540万kWと同程度。
<参考> NORDEL 系統	5,340万kW	42万kW (0.8%)		
米国	10,870万kW	206万kW (1.9%)	(2020年までに米国発電電力量の5%)	東部系統、西部系統、テキサス系統、ハイドロケベック系統の4系統から成る。 各電力会社間では系統管理を行わず、ISO(Independent System Operator)が行う体制となっており、ISOは電力需要に応じ電力を確保。

(1)最大電力・風力発電導入設備容量は、第3回新エネルギー部会「新エネルギーの導入に係わる電力会社の取り組み及び今後の課題について」より抜粋

## 我が国における風力発電の導入の状況

	最大電力量① (※1、※3) (万kW)	風力発電設備(※2)		
		設備容量(電力会社保有分)② (kW)	設備容量(電力会社以外保有分)③ (kW)	設備容量④ ④=②+③ (kW) (④/①%)
北海道電力管内	511	1,580	30,708	32,288 (0.63)
東北電力管内	1,359	2,892	10,360	13,252 (0.098)
東京電力管内	5,940	300	2,807	3,107 (0.0052)
中部電力管内	2,639	267	3,863	4,130 (0.016)
北陸電力管内	523	292	700	992 (0.019)
関西電力管内	3,223	150	33	183 (0.00057)
中国電力管内	1,127	408	66	474 (0.0042)
四国電力管内	580	300	2,975	3,275 (0.056)
九州電力管内	1,612	1,750	4,030	5,780 (0.036)
沖縄電力管内	141	5,970	1,215	7,185 (0.51)
(※4) 合計	(17,655)	13,907	56,756	70,663 (0.040)

99年12月末現在

- ※1 電事連調べによる  
 ※2 NEDO調べによる(10kW超過の風力発電設備が対象)  
 ※3 各社の最大電力発生日は各々異なる。  
 ※4 合計は端数処理に伴う調整をしてある。